

Japan Bike Technique 2022 採点内容

採点項目一覧

JBT2022 では以下の採点項目を設けます。

走行会前日

- (01). 車両本体重量
- (02). 装備重量
- (03). 車検&装備ボーナスポイント
- (04). プレゼンテーションポイント
- (05). 来場者ポイント

走行会当日

- (06). ライド（ヒルクライム TT、旅ポイント、ダウンヒル タイムマネージド ライド）
- (07). 車検
- (09). 輸送

採点内容につきましては、今後変更の可能性が有ります。
変更が発生し次第当 WEB にて告知をさせていただきます。

項目別 採点基準

● 【01】 車体本体重量

車体本体重量に対し、基準 10kg (ペダル、照明およびボーナスポイント対象部品(03 参照)を含む) とし、差分重量を 50g 単位で 50 点を加減算します。

● 【02】 装備重量

実走行状態 (必要装備一式を含む) の重量を測定し、車両本体重量との差分を「装備重量」とします。装備重量について、基準 2kg とし、差分重量を 10g 単位で 5 点 加減算します。

● 【03】 車検&装備ボーナスポイント対象部品

必須装備：欠落の場合はオープン参加となります。

装備ボーナスポイントは、ドロヨケ・キャリア・ダイナモ給電に対して認定・付与します。

認定は審査員人数の 5 割認定で半分、7 割超で全ポイントを付与します。

ボーナスポイントは以下とします。

- ・ドロヨケ (1000 点、1Kg 換算)
- ・キャリア (500 点、500g 換算)
- ・ダイナモ給電 (前後各 500 点)

● 【04】 プレゼンテーションポイント

審査員により採点されます。

コンセプト・技術力・実用性・デザインの各項目に対し、各審査員の持ち点 1,000 点をチームに分配・付与します。

● 【05】 来場者ポイント (プレゼンテーションおよび展示車両に対し)

来場者の皆様に、一日目・二日目共に投票用紙により、気に入ったチームに投票をして頂きます。 1 投票 5 ポイントとしてカウントします。

投票可能時間

- ・一日目 15:00~18:00 (投票場所は本部前)
- ・二日目 12:00~14:00 (投票場所はステージ前)

● 【06】ライド

◇ ヒルクライム TT

ヒルクライム区間に着順に対してポイントを付与します。

計算式：(参加チーム数－TT 区間順位) × 50

◇ 旅ポイント

走行ルート中、指定ポイントで写真を撮影し、Facebook 上の JBT2022 ページに現地で Up して頂きます (撮影ポイントは3箇所程度を予定)。

チーム毎に「いいね」の総数 (写真数が3を超えている場合、いいね個数上位3位までの個数を採用) を1いいね1ポイントとして付与します。

締め切りは 13:00 とします。

◇ ダウンヒル タイムマネージドライド

グラベルのダウンヒル区間に安全の為に走行時間を規定します。

2区間を設けそれぞれの区間での規定時間と走行時間の差でポイントを減点します。

それぞれの区間で

- ・早着：5分単位で100点減点
- ・遅着：30分単位で50点減点

とします。(規定時間より5分前～30分過ぎまでは加減算無しとなります)。

● 【07】車検 (走行後)

各出走車両はゴール後に車両の検査を受けなければなりません。

検査の結果によってポイントの減点があります。

◇ 失格

- ・乗車不能のフレームとフォークの破断又はクラック
- ・予備パーツ・修理工具不携帯による走行継続不能

◇ マイナス 500 点

- ・フレーム/フォークの使用可能範囲内の変形 (目視検査)
- ・変速/トランスミッション廻りの故障・破損
- ・ブレーキの破壊や劣化・動作不能
- ・ハンドルステムの破損(曲がった、割れた)
- ・サドルおよびシートポストの破損
- ・リムの変形 (左右 3 mm 以上の振れ)

- ◇ マイナス 100 点
 - ・照明の故障・紛失
 - ・工具・ポンプの破損・紛失
 - ・ボトルケージ紛失または破損
 - ・キャリアの破損・紛失
 - ・フリーホイール機構の破損
 - ・タイヤサイドの破損（コードの切れが有る場合）
 - ・マッドガードの破損・紛失

- ◇ マイナス 50 点
 - ・その他パーツの破損・紛失

● 【08】 輸行トライアル

◇ 輸行タイムトライアル

当日ゴール後に実施します。

- ・車両を輸行可能状態にし輸行袋に収納
 - ・車両を収納した輸行袋とバッグ類を担いでステージ右手より降り
 - ・ステージ前を左手まで移動し、再びステージへ上がり
 - ・ステージ上で輸行袋より取り出し組み立てバッグ類を装着し走行可能状態に
- 上記の総時間を計測し、その時間により順位を求めポイントを付与します。

計算式：(参加チーム数－パッキング順位) × 10

(17 チームの場合：1 位 160 点、17 位 0 点)

なお

- ・輸行状態のサイズが規定を満たさない場合、最下位扱いとします。
- ・原則ライダー自身により輸行するものとしますが、ライダーの疲労が激しいと判断した場合ビルダーまたはチーム代表者が代行する事も可能とします。
- ・積載義務のペットボトル 8 本も輸行時携行対象とします。

◇ 輸行審査ポイント

輸行に際して有効なアイデアおよびアイテムについては、審査員評価によりポイントが付与されます。

● 【09】 その他留意点

- ・選手によるハンディキャップ
本年は設けません。

表彰

● 総合順位

獲得ポイント合計による順位を公表します。1位から3位までを表彰します。

● 部門賞

当日、様々な賞を設ける可能性が有ります。

どんな賞が出るかはお楽しみに！

問合せ先

Japan Bike Technique 実行委員会 事務局

e-Mail : inquiries@japanbiketechinque.org

電話 : 03-5748-8730 (有限会社 マイス 市川)

FAX : 03-5748-8732